

メキシコ政治情勢（２月）

〈概要〉

【内政】

- ・ 11日、2018年大統領選挙の予備選挙キャンペーンが終了した。
- ・ 18日、各党の2018年大統領選候補者が正式に選出された。

【外交】

- ・ 1日、ビデガライ外相がフリーランド加外相と外相会談を行った。
- ・ 2日、ペニャ・ニエト大統領がティラソン米国务長官およびフリーランド加外相と会談を行った。
- ・ 2日、ビデガライ外相がティラソン米国务長官と会談を行った。
- ・ 12日～20日、墨EU自由貿易協定再協議第9回交渉ラウンドが行われた。
- ・ 14日、ビデガライ外相が訪米し、米国政府幹部と会談を行った。
- ・ 20日、ペニャ・ニエト大統領とトランプ大統領が墨米電話首脳会談を行った。

〈内政〉

1 大統領選挙予備選挙キャンペーン

(1) 11日、2018年大統領選挙の予備選挙キャンペーンが終了した。今後は3月11日～18日までの立候補者登録期間に各大統領候補者の正式な登録が行われ、3月30日～6月27日までの本キャンペーンを経て、7月1日に投票日を迎える。

(2) 各党予備候補の支持率は各種世論調査ではロペス・オブラドール候補（**Juntos Haremos Historia: 共に歴史を作ろう**）(国家再生運動(Morena), 労働党, 社会結集党(PES)による選挙同盟)が首位で、2位のアナヤ候補（**Por Mexico al Frente: メキシコのための前進**）(国民行動党(PAN), 民主革命党(PRD), 市民運動による選挙同盟)に5～10%の差をつけている。一方、与党制度的革命党(PRI)のミード候補（**Todo por Mexico: 全てはメキシコのために**）(PRI, 緑の党, 新同盟党による選挙同盟)は3位となっており、支持率の伸び悩みが指摘されている。

(3) また、独立系候補として、ロドリゲス前ヌエボ・レオン州知事、ピーテル上院議員、サバラ元下院議員の3名が出馬をする見通しである。独立系候補として立候補するためには2月19日までに必要な署名（有権者リストの1%（約87万人）の署名を少なくとも17州から集める必要がある。2月19日以降、国家選挙機関(INE)がそれぞれの候補者が集めた署名に不備がないかを精査した上で、これら候補者の大統領選挙出馬を承認することとなる。

2 大統領選候補者の正式決定

18日、各党は大統領選候補者を正式に選出した。候補者は以下の通り。

(1) 与党制度的革命党 (PRI)

ミード前大蔵公債相が PRI 全国大会において同党の大統領候補として正式に選出された。同候補は選出後のスピーチで汚職の撲滅、格差是正、質の高い教育などの目標を掲げた。

(2) 国民行動党 (PAN)

アナヤ前 PAN 党首が PAN 本部にて開催された式典において同党の大統領候補として正式に選出された。同候補は選出後のスピーチにおいて、PRI の汚職体質に対する批判を展開し、また Morena の大統領候補であるロペス・オブラドール候補についても暗に批判した。

(3) 国家再生運動 (Morena)

ロペス・オブラドール前 Morena 党首が Morena 全国大会において同党の大統領候補として正式に選出された。同候補は汚職の撲滅を訴え、メキシコ国民に平和と平穏をもたらすことを約束する旨述べた。

正式に選出された各党の大統領候補は 3 月 11 日から 18 日の立候補者登録期間に、国家選挙機関 (INE) に対して立候補登録を行う。

〈外交〉

1 ビデガライ外相とフリーランド加外相の外相会談

1 日、ビデガライ外相は昨年 10 月のトルドー加首相のメキシコ公式訪問のフォローアップを行うことを目的にフリーランド加外相と墨加外相会談を行った。両外相は、墨加二国間関係、NAFTA 再交渉、中米地域との協力、墨加ハイレベル戦略的対話 (DESAN)、女性の経済的エンパワーメント、墨加の同盟に関して意見交換を行った。両外相は、墨加両国関係を強化し、北米地域の発展、平和、繁栄のために引き続きともに取り組むことで一致した。

2 ペニャ・ニエト大統領とティラソン米国务長官およびフリーランド加外相との会談

(1) 2 日、ペニャ・ニエト大統領は大統領官邸においてティラソン米国务長官と会談した。大統領は、墨米は両国間の良好な共同関係の構築および制度化に向けた意義のある進捗を見せてきたと述べた。さらに、競争力、治安、自由貿易といった二国間協力の全ての分野における相互尊重に基づく率直かつ定期的対話を引き続き行っていくメキシコの責任について述べた。両者は革新、エンパワーメント、労働力の強化、性の同等性、二国間協力の制度強化などの墨米共通の議題を促進することの重要性で一致した。また、治安分野での協力強化の必要性について確認した。大統領は今回の会談を通じて、墨政府は米国との二国間関係の強化および両国社会の福祉向上に向けて引き続き取り組んでいくことに対する関心および約束を改めて確認したと述べた。

(2) 同日、ペニャ・ニエト大統領は大統領官邸においてフリーランド加外相と会談を行い、墨加二国間の様々な議題について話し合った。大統領は墨加の関係強化を称え、両国政府の協力関係はこの数十年間の中で最良の状態にあると述べた。両者は現ペニャ・ニエト政権において観光客数2倍以上という成果をあげているカナダ政府によるメキシコ人観光客へのビザ廃止および季節農業労働者プログラムなどを通じた墨加間の人の往来の促進にかかる進捗について話し合った。また、両者は墨加同盟 (Alianza Mexico-Canada) を通じた継続的協力強化にかかる両国共同の取り組みを評価した。通商に関しては、NAFTAの近代化を成功裏に終えることおよび包括的および先進的環太平洋連携協定 (CPTPP) の早期署名に対する両国の約束 (compromiso) について確認した。

3 ビデガライ外相とティラソン米国務長官の会談

2日、ビデガライ外相は訪墨したティラソン米国務長官と会談を行った。両者は、昨年に行われ、墨米二国間関係の強化に資するものとなった墨米間の継続的かつ建設的な対話を評価した。さらに両者は、昨年3月18日および12月14日に開催された組織犯罪対策ハイレベル対話 (DANCOT) での合意点等、治安に関する重要な議題に関してフォローアップを行い、両国の治安改善に資する協力を継続することの重要性で一致した。また、両者は中米における持続可能かつ包摂的な発展のための協力、ベネズエラ情勢等、地域の課題に関し意見交換を行った。ビデガライ外相は、墨米両国が繁栄した競争力のある地域を促進するための責任を共有している旨改めて述べた。両者は、率直かつ建設的な対話を継続し、治安、移民および競争力にかかる既存の協力制度を強化することで合意した。

4 ビデガライ外相と米国政府幹部との会談

(1) 14日、ビデガライ外相は訪米し、複数の米国政府幹部と会談を行った。今回の会談の目的は墨米間の経済協力、貿易、治安、司法、エネルギー、地域イニシアティブ、移民問題等の分野における総合的な合意に到達するために、昨年1年間に両国政府が行ってきた取り組みを継続させることである。

(2) ビデガライ外相は、アコスタ米労働長官、ペリー米エネルギー長官、ロス米商務長官、マクマスター米国家安全保障担当大統領補佐官、クシュナー米上級顧問、ケビン・マカーナン米税関国境警備局コミッショナー、ブライアン・フック米政策企画部長、ムニューシン米財務長官、コーン米国家経済会議 (NEC) 議長と会談した。

(3) 今回の会談の成果として、数週間中にペニャ・ニエト大統領とトランプ米大統領の会談を実現するために取り組んでいくことが合意された。

5 墨米電話首脳会談

20日午前、ペニャ・ニエト大統領はトランプ米大統領と電話会談を行った。両首脳は米フロリダ州パークランドで発生した高校での銃乱射事件および墨オアハカ州ハミルテペ

ックで発生した軍用ヘリコプターの事故について、相互に弔意を表した。また、治安・通商および移民分野の二国間課題に関して、作業部会による調整を通じて、その範囲を拡大することを改めて約束した。